

## レファレンス

### コーナー

## アジアの新聞を知るために——その概要とアクセス方法

青柳英治

アジア諸国の現地事情を知ろうとする場合、現地で発行された一次資料にアクセスすることが重要となる。特に日本にいながら各国の政治情勢や経済事情ならびに世論の状況をタイムリーに知りたい場合は、一次資料のなかでも現地語で書かれた新聞が貴重な情報源となってくる。

アジア諸国、特に東南アジアにおいては、植民地支配からの独立、複雑な民族関係や深刻な貧困問題を抱えてきた歴史的経緯から、これまで国民意識の醸成や開発に向けた国民の動員といった役割を、新聞をも含めたメディアが担うことを期待されてきた。こうしたメディアを通じた政治と経済両面におけるナショナルリズムの強調は、往々にして権威主義と結びつき厳しいメディアの統制や人権の弾圧が図られる要因ともなってきた。しかしながら、このような状況のなかでも勇敢かつ率直な紙面展開を続け、政権交代の推進役を担

うといった新聞もまた存在している。そこで、本コーナーでは第一にアジア各国の政治体制や経済変動が新聞に及ぼしている影響や特定の出来事についての報道のされ方を通して新聞の特徴と置かれていた状況がわかる文献、第二にアジア各国の新聞を個別または網羅的に紹介した文献最後に実際にこうした新聞へアクセスするための目録やウェブサイトのなどのツールを紹介する。

重富真一・中川雅彦・松井和久編『アジアは同時テロ・戦争をどう見たか——九カ国の新聞論調から』（明石書店 二〇〇二年）は、アジア経済研究所（以下、アジ研）の研究者が九・一一のテロとその後の事態に関してアジア諸国の新聞に現れた論評、解説、国内の反応に関する記事を国ごとにまとめたものである。イスラム教徒の多寡、米国の経済との結びつきの強弱などによって各国の新聞報道にどのような違いが生じているかを感じ取ることができる。

韓国、香港、タイの出身者を著者に含め一年間を通して各国の新聞記事を選択・翻訳してまとめた根津清他著『アジアの新聞は何をどう伝えているか——現地語紙で読むアジア最新情報』（ダイヤモンド社 一九九三年）では、アジアの新聞における日本の出来事の扱われ方、自国の政治、経済、社会事情についての報道の仕方を知ることができ、隣国の人々の素顔が読み取れる。

共産主義政党の支配下にあるラオ

スとベトナムの新聞統制についての比較を試みた松本悟「インドシナ共産主義政党とマスメディア——ラオスとベトナムの新聞統制」（マス・コミュニケーション研究）No.56 日本マス・コミュニケーション学会 二〇〇一年一月）では、文献調査とインタビューを駆使することによって、法や制度に基づく統制と実務レベルで日常的に行われている統制の二つの観点から両国の新聞統制における類似点と相違点を明らかにしている。

アジ研編『第三世界のマスメディア』（明石書店 一九九五年）では、新聞、テレビ、ラジオを中心としたマスメディア事情について出版当時の各国の置かれた政治・経済的状況を反映した多様な状況がアジ研の研究者と図書館員によって明らかにされている。また、巻末資料も新聞の概況を知る有効な手段となる。

次にアジア各国の新聞の概要がわかる文献としては、次の二点が挙げられる。むすびめの会編『多文化社会図書館サービスのための世界の新聞ガイド——アジア・アフリカ・中南米・環太平洋を知るには』（日本図書館協会 一九九五年）は、もとも開発途上国出身の在日外国人による「自国の新聞を見たい」というニーズに図書館員が応えるために作成された手引書であるが、発行されている新聞の概要や書誌事項として入手方法がアジアを中心として国別にまとめられているため一覧性が高

く、途上国の新聞について知りたい利用者にも活用できる。また、一九九八年から二〇〇一年にかけて毎号一紙アジア各国をはじめとする世界の新聞を紹介した「マスメディア・ウォッチング」（世界週報）時事通信社）では、新聞の位置づけおよび特徴、歩んできた歴史などがコンパクトにまとめられており、新聞を購読する際の参考となる。

最後にこれら新聞がどこに所蔵されているのかを確認するツールとしては、アジ研編『東南アジア諸語逐次刊行物総合目録』（アジ研「以下同」 一九九三年）、『朝鮮文雑誌新聞総合目録』（一九八七年）、『中国文雑誌新聞総合目録』（一九八六年）と国立国会図書館編『南アジア関係逐次刊行物総合目録』（国立国会図書館 一九九六年）の冊子体目録および国立国会図書館がウェブ上に構築した「全国新聞総合目録データベース」（[http://sinbun.ndl.go.jp/o\\_euran.htm](http://sinbun.ndl.go.jp/o_euran.htm)）が役に立つ。また近年、出版社のウェブサイトに直接アクセスすることによって、閲覧の範囲は限られるものの当日の新聞をリアルタイムで読むことも可能となっている。個別のアドレスについては、アジ研図書館のホームページ内にある特選サイト集（<http://www.ide.go.jp/Japanese/Library/Link/Tokusen/index.html>）を参照されたい。

（あおやぎ えいじ／図書館資料整理課）